

やまびこ Yamabiko

2022. 9
広報誌 No80



8月19日 あつみ小学校3年生23名が「溫和の森」で森林環境学習「焼畑体験」を行いました。

主なもくじ

- 第57回通常総代会、提出議案、令和3年度事業活動の概況 … 2
- 令和3年度事業部門別損益、損益計算書、貸借対照表 …… 3
- 令和4年度組合運営の基本方針、提案型集約化施業計画 …… 4
- 森の掲示板（新たな集材システムの構築を目指すほか） …… 5
- 新人技能職員の紹介、お願い他 …… 6



JForest 温海町森林組合
<http://shinrin-atsumi.or.jp>



第五十七回通常総代会

去る5月26日、温海温泉林業センターを会場に第57回通常総代会が本年度も新型コロナウイルス感染症の防止対策に総代のご理解とご協力の下に開催され、実出席54名、委任出席及び書面議決権行使124名の計178名の出席を得て、提出された8議案全てが承認・可決されました。

提出議案



- ◆ 議案第1号 令和3年度事業報告・貸借対照表・損益計算書、剰余金処分案、注記表及び附属明細書承認の件
- ◆ 議案第2号 令和4年度事業計画設定の件
- ◆ 議案第3号 令和4年度借入金最高限度額決定の件
- ◆ 議案第4号 令和4年度余剰金預け入れ先金融機関決定の件
- ◆ 議案第5号 令和4年度二組合員に対する貸付金並びに債務保証最高限度決定の件
- ◆ 議案第6号 令和4年度各種取扱手数料決定の件
- ◆ 議案第7号 令和4年度役員報酬決定の件
- ◆ 議案第8号 系統運動方針設定の件

令和3年度 事業活動の概況

本年度の国内経済は、発生から2年目となった新型コロナウイルスの感染による緊急事態宣言等が断続的に発出され、景気は落ち込みと持ち直しを繰り返すワクチン接種が進んだ今もなお、経済活動に大きな影響を与えています。

一方、森林・林業においては、コロナ禍の影響による海運業界の物流停滞、さらにアメリカでの住宅建築への経済対策や木材需要の高まりなどの影響で輸入材の入荷減少が起り国産材の需要が急増して「ウッドショック」という木材価格の高騰を招きました。これを機に国内市場では輸入材から国産材への切り替えを進めたものの、国内需要の約6割を占めていた輸入材を担うには、生産基盤の遅れ、林業労働力の不足などの生産体制や木材性能等の課題も多く結果として輸入材に代わる供給への即応は難しい状況でした。

本組合の運営は、コロナ禍やウッドショックによる影響を注視しながら、計画に基づき森林経営計画を菅野代及び楨代地内にて策定し、提案型集約化施設による搬出間伐110haと皆伐8.5haを行い、木材生産量は2万1千57m³となりました。



議長を務める温海総代馬場充氏

また、皆伐後の再造林については、資源の循環利用を目指す「焼畑あつみかぶ」栽培の取組1haを含めた皆伐・再造林は7.5haを実施しました。さらに、次年度の提案型集約化施設の実施に向けた森林境界の確定調査や前年度の継続で進めていた関川地内の林業専用道「入山越沢台線」2,200m



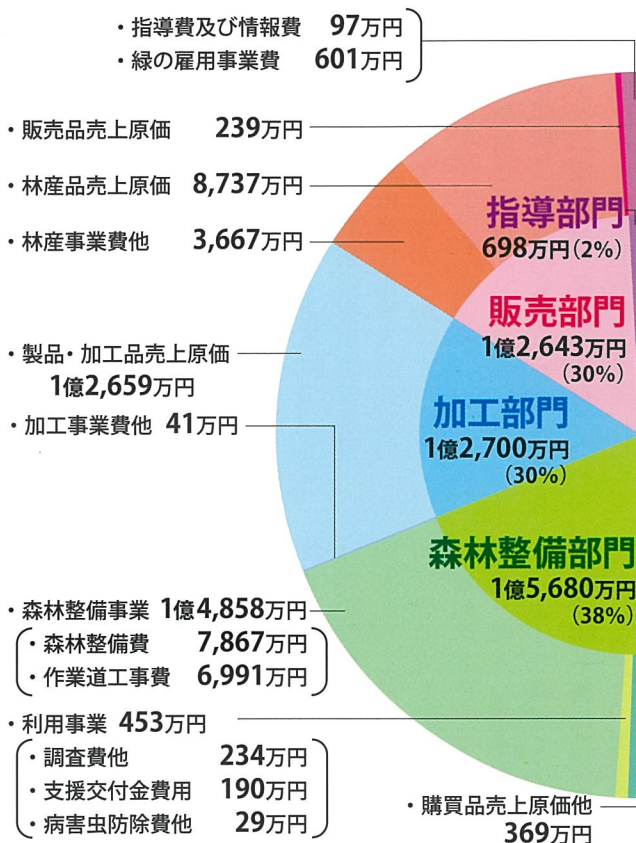
挨拶を述べる五十嵐組合長

の開設工事については11月に完成することができました。加工部門では、主力であるラミナ製材事業はウッドショックの影響による原木不足からの原材料価格高騰の中、取引先との連携強化と安定供給に努め大過なく経ることができました。また、木工品では鶴岡市と姉妹都市である東京都の江戸川区役所から多くの「あつみ杉積木」の受注を得るなど地域材のPRにつなげることができました。

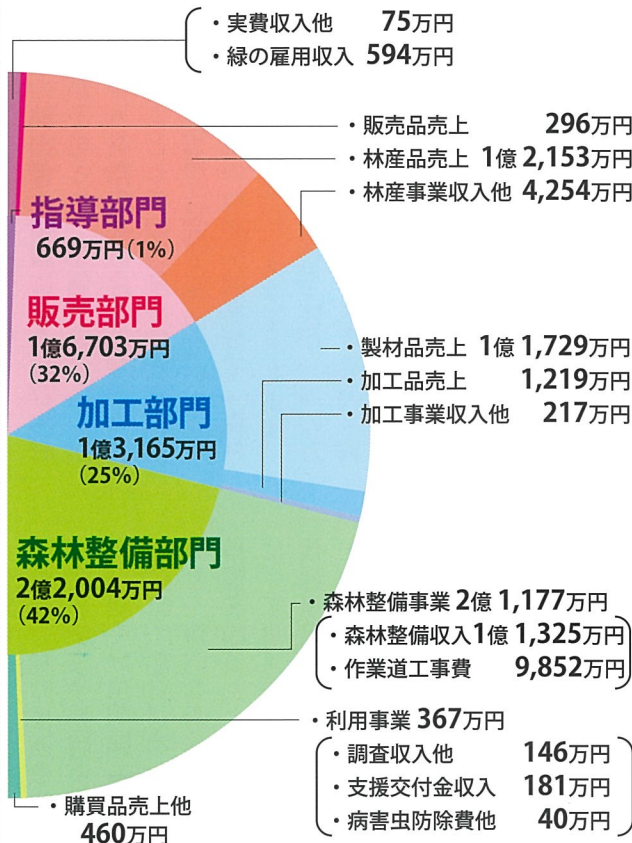
こうした取組により、事業取扱高は前年度を上回る52,541万円となりました。この実績は、提案した事業への組合員の理解と地域の協力、また、職員と現場を担う技能職員が常に危機意識を持ち創意工夫と組織の総合力で生産性の向上とコスト削減に取組んだ成果であり、森林所有者への利益還元とともに組合員事業の取扱いを高めることができました。事業管理費においても経費削減に努めた結果、本年度決算の税引き後の当期剰余金は4,294万円を計上することができ、前年度に続き計画を大きく上回る結果を得て、次年度に計画される生産設備等の更新に備えた組合員資本の増強に資することができました。なお、今年度職場内で非行行為による一件の不適切な事案が発生してしまい、組合員には深くお詫び申し上げます。この対応には、原因調査を行ったうえ迅速かつ的確に措置を講じたところでありますが、こうした事案を発生させないことが大原則であり、即時役職員によるコンプライアンス研修を重ねるとともに、未然防止に向けたコンプライアンス体制の強化に取組んでまいります。

【令和3年度 事業部門別損益】

B 事業総費用 4億 1,721万円



A 事業総収益 5億 2,541万円



貸借対照表

令和4年3月31日現在

(単位:万円)

科目	内訳	計	科目	内訳	計
資産の部			負債の部		
流動資産			流動負債		
1. 現金		9	1. 買掛金		1,328
2. 預金		33,550	2. 短期借入金		0
3. 受取手形	0		3. 未払金		2,923
4. 売掛金	2,131		4. 未払法人税等		1,511
貸倒引当金	△ 13	2,118	5. 未払費用		0
5. 未収金	728		6. 前受金		3
貸倒引当金	△ 1	727	7. 一般預り金		173
6. 棚卸資産		1,014	8. 雑負債		0
7. 前払費用		81	流動負債合計		5,938
流動資産合計		37,499	固定負債		
固定資産			1. 退職給付引当金		3,621
有形固定資産			2. リース債務		428
1. 建物	2,006		固定負債合計		4,049
2. 構築物	7		負債合計		9,987
3. 機械装置	80		純資産の部		
4. 車両運搬具	494		組合員資本		
5. 器具備品	50		1. 出資金		9,933
6. 附属設備	269		2. 利益剰余金		
7. 一括償却資産	92		法定準備金	7,000	
8. リース資産	302		任意積立金	11,099	
9. 土地・森林	979		当期未処分剰余金		
有形固定資産合計		4,279	(1) 当期剰余金	4,295	
無形固定資産 (電話加入権、リース資産)		122	(2) 前期繰越剰余金	1,593	
外部出資その他資産			利益剰余金合計		23,987
1. 系統出資金	1,099		3. 資本準備金		114
2. 系統外出資金	1,014		組合員資本合計		34,034
3. その他資産	8		純資産合計		34,034
外部出資その他資産合計		2,121	負債・純資産合計		44,021
固定資産合計		6,522			
資産合計		44,021			

損益計算書

令和3年4月1日～ 令和4年3月31日

科目	計 (万円)
A 事業総収益	5億 2,541
B 事業総費用	4億 1,721
a 事業総利益 (A - B)	10,820
b 事業管理費	5,156
c 事業利益 (a - b)	5,664
d 事業外損益	41
e 特別損益	97
f 税引前当期利益 (c + d + e)	5,802
g 法人税、住民税額及び事業税	1,508
h 当期剰余金 (f - g)	4,294
i 前期繰越剰余金	1,593
j 当期末処分剰余金 (h + i)	5,887

令和3年度剰余金処分

摘要	小計 (万円)	合計 (万円)
I 当期末処分剰余金		5,887
II 剰余金処分額		3,861
1. 法定準備金	2,500	
2. 任意積立金	1,361	
(損失補填積立)	(500)	
(特別積立)	(30)	
(森林整備活動積立)	(431)	
(建築物修繕積立)	(400)	
III 次期繰越剰余金		2,026

令和4年度 運営の基本方針

*国産材の安定供給へ！ 体制整備が急務

今年度で、3年目を迎えた新型コロナウイルスは、変異しながら感染者の増減を繰り返し若年層を中心に新規感染者が増加するなど流行「第7波」の渦中にあります。今後の感染対策については、ワクチン接種の加速、治療薬の提供等で感染の波に備えつつ、国内経済の活性化や人の往来の本格的な再開など、ウイズコロナへ向けての戦略を策定・実行することが求められています。

木材業界では、昨年度から続く「ウッドショック」がやや落ち着きを取り戻しつつあったものの、ロシアのウクライナへの軍事侵攻に対して行った日本を含む欧米諸国による経済制裁によって、ロシアが報復としたエネルギー供給規制とともにチップ材や製材品の輸出停止措置により再び木材の不足と価格高騰が予想され、物価上昇からの建築着工戸数の減少や木材離れを懸念するなどの声も上がるなか、代替えとしての国産材の安定供給は必須で増産への体制整備が急務となっています。この様な中、令和3年度の検討期間を経て「森林組合系統運動方針」が今年度からスタートします。系統運動の意義は、森林組合系統全体が一つの方向に向かって団結することにより、大きな力（協同の力）を生み出すことにあります。運動方針は令和3年度から令和12年度末までの10ケ年の長期計画となり、「地域森林の適切な利用・保全と林業経営の更なる発展に向けて」をスローガンに（1）組合員サービスの向上（2）働く人の所得向上・就労環境改善（3）事業拡大・効率化に経営の安定を目標にSDGs宣言を含む5つ取組項

目と数値目標を設定し、組合員資源の有効活用による利益還元や環境面での社会貢献へ向け計画を実施します。

本年度の森林経営計画は関川、小名部、五十川地区に3団地8林班687haで策定し、森林所有者と合意形成を図りながら提案型集約化施設を行い、昨年度から繰越した五十川安土団地を含む4団地約200haで搬出間伐を進めます。また、皆伐と再造林についても積極的に取組み次世代へ向け豊かな森林資源を繋いでいきます。さらに、事業を進めるにあたり就労環境の改善と生産コスト削減を追求し組合員への利益還元の充足に向け木材運搬用トラックと高性能林業機械ハーベスタを更新・導入し効率化による生産量の増大を図ります。加えて施業エリアの拡大に向け急傾斜地に適した架線系搬出技術の習得と架線事業の検証に取組み生産体制の構築を目指します。

公的機関の発注が見込める事業として、やまがた森林と緑の推進機構（旧林業公社）における搬出間伐施業や鶴岡市による生活環境保全林の保育及び松くい虫防除事業は、組合員事業と一体的な森林整備を図るとともに、工事支障木の伐採事業等の受託にも対応し安定した事業の確保に努めます。事業外では、導入6年目となる森林整備活動積立金の運用について、林内路網の草刈りや敷砂利整



木材の大径化に対応したハーベスタの導入を計画

令和4年度 提案型集約化施業(搬出間伐・皆伐・再造林)の計画

団地名	搬出間伐			皆伐・再造林計画			備考
	面積	搬出材積	作業道開設	皆伐面積	生産材積	再造林面積	
五十川安土	令和3年度～継続(60.0ha)			無	無	無	
関川越沢台	40.0ha	4,000m ³	5,000m	4.0ha	3,000m ³	4.0ha	
小名部幾重谷	50.0ha	5,000m ³	6,000m	3.0ha	2,000m ³	3.0ha	
五十川千鳥越	60.0ha	6,000m ³	7,000m	3.0ha	2,000m ³	3.0ha(R5)	



昨年11月に完成した関川「入山越沢台線」2,200m この林業専用道を利用し関川越沢台団地の提案型集約化施業を行います。

備など、また近年多発するゲリラ豪雨による路網災害の復旧にも迅速に対応できるよう積立金を増額して組合員利用施設の維持管理に努め効果的な運用を図ります。これら事業の達成に向け、高まる国産材需要とカーボンニュートラル等政策の追い風を捉え、全役職員が目標を共有し積極的な事業の取組みで計画の達成を目指します。また、法令順守と労働安全を徹底し、組合員が利用しやすい明るい職場づくりに努めます。



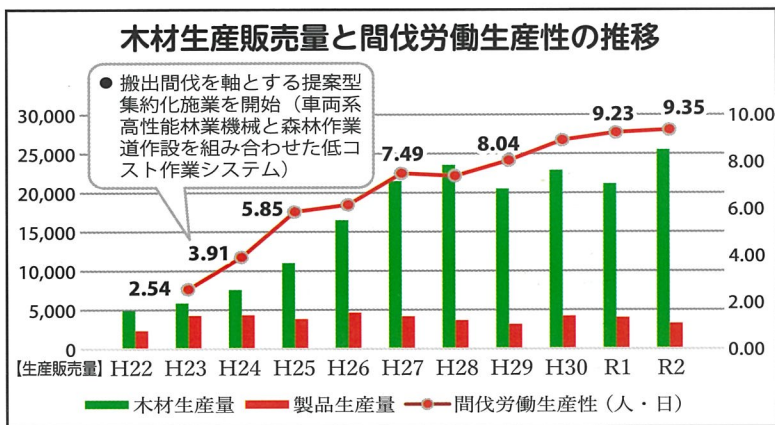
施業エリア拡大に向け
新たな集材システムの構築を目指す

温海地域の民有林人工林面積は8,169 haで、その内50年生以上の利用可能な林分が現在約8割に達しています。こうしたことから、当組合では搬出間伐による森林整備を積極的に進めるため、平成24年度から車両系の高性能林業機械を活用し、提案して行う集約化施業で森林作業道の作設によるフル生産に着手し、さらに、平成28年度から集約化施業に主伐・再造林を組入れ提案して事業を進めてきました。その結果、令和2年度で搬出間伐の労働生産性は9・3 m³/日・人を超え、木材生産量は平成23年度比で約5倍の2・5万m³まで増産し、集約化施業の搬出間伐による森林整備は着手から10年間で1,384 haを実施、12・4万m³を生産しフル活用しました。また、森林所有者への利益還元額(間伐材代金)は2・1億円を超え実績となっています。

しかし、搬出間伐による森林整備



オーストリア製タワーヤーダ



はこれまでの10年間で民有林人工林面積の17%程度で、当地域は急峻な地形が多く幹線となる路網も不足していることから、車両系システムで全ての区域森林をカバーしていくことは不可能な状況にあります。そのため、車両系では施業が困難な森林の荒廃が進むなど問題となっており、その対策には急峻な地形に適應できる低コストの架線集材システム技術の習得が必要です。そのため、架線技術の習得を図り、導入に向け次年度以降の集材システム構築を目指します。

新たな系統運動がスタート!

令和3年度から検討を重ねていた森林組合系統運動(令和12年度までの10カ年計画)がスタートします。全国統一目標(スローガン)に

「地域森林の適切な利用・保全と林業経営の更なる発展に向けて」を掲げ、持続可能な林業経営を通じて、

- (1) 組合員サービスの向上
 - (2) 働く人の所得向上・就労環境の改善
 - (3) 事業拡大・効率化による経営の安定
- の3つの課題に取り組みます。具体的には、

- ① 都道府県・市町村と連携した地域森林管理体制の確立○地域の森林管理方針(長期ビジョン)の協議○森林環境譲与税の有効活用○森林経営管理制度の推進
- ② 循環型林業の確立と系統の木材販売力の強化○森林の適切な整備と災害対応○低コスト・循環型林業の確立○原木共同販売体制の構築と事業連携の推進
- ③ 高度人材の確保・育成○職員の新規採用と人材育成○森林施業・森林経営プランナーの育成○現場技能者の地位向上・労働災害の撲滅
- ④ 協同組合として組合員に信頼される組織体制の確立○組合員の参画・ニーズへの対応○森林組合経営の強化・健全化○コンプライアンス体制の強化

行事等のお知らせ

募集 サラリーマン林太郎講座 山の活動体験講習のご案内

今年もサラリーマン林家を対象に鶴岡市との共催により開催します。

- 日時 10月1日(土)午前10時～午後4時
- 内容 チェーンソー講習
日常点検と目立て講座
間伐作業現場見学等
- 対象 18歳以上で興味のある市民
- 定員 先着15名
- 申込 9月16日まで当組合まで



写真は昨年行われた講習会の様子です。

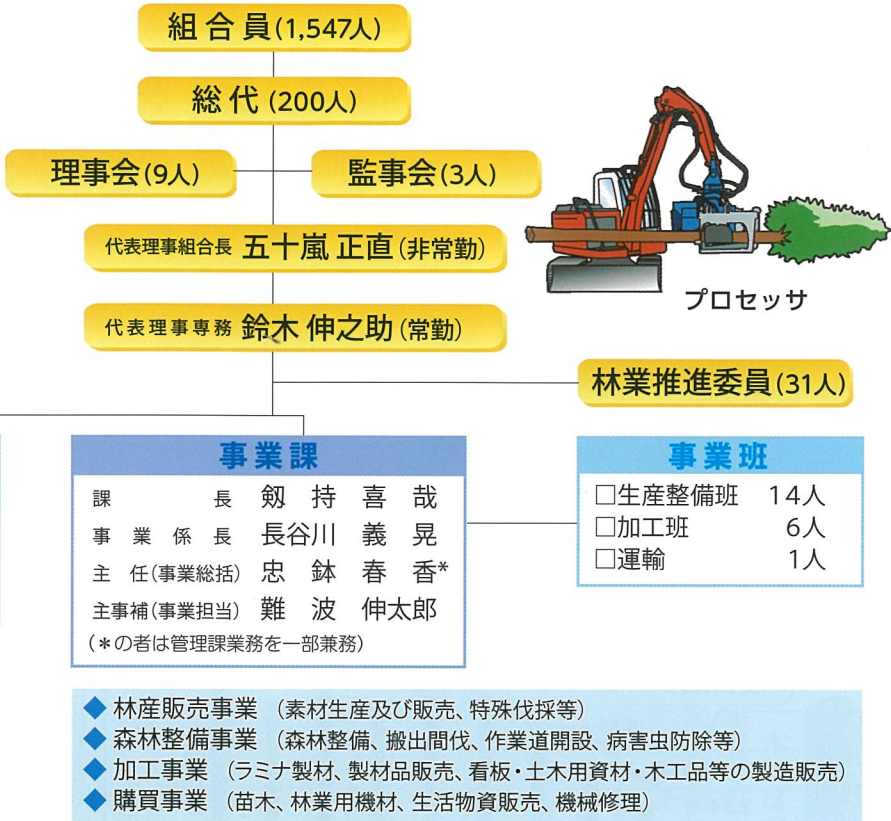
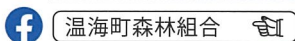


参加者の方々は講習会を通し改めて日常点検や目立ての大切さに気づいた様でした。今年も皆様のご参加をお待ちしております。

温海町森林組合

令和4年度 組織構成図

住所 〒999-7123
 鶴岡市大岩川字木揚場 8番地
 TEL (0235)43-2313
 FAX (0235)43-2317
 E-mail atsumisk@amber.plala.or.jp
 URL http://www.shinrin-atsumi.or.jp



新人職員の紹介

令和3年度中に技能職員4名を採用しました。
 ご指導・ご鞭撻よろしくお願いたします。



技能職員
 (生産整備班配属)
加藤 想太
 (小国)
 R3.10月~



技能職員
 (生産整備班配属)
伊藤 奨
 (湯温海)
 R3.11月~



技能職員
 (加工班配属)
斎藤 祐美
 (湯温海)
 R3.12月~



技能職員
 (運輸担当配属)
菅原 慶
 (羽黒)
 R4.3月~

軽トラ林業

2m原木の現金買取(工場持込)

組合へ、軽トラ等で直接搬入すると現金でその場でお支払いしています。なお、左記以上の径級単価設定もあります。



長さ	末口径	1本単価
2m	14 cm	180 円
2m	16 cm	230 円
2m	18 cm	590 円
2m	20 cm	720 円
2m	22 cm	870 円
2m	24 cm	1,040 円
2m	26 cm	1,220 円

令和4年5月より買取価格が上がりました！
 皆様からの出材お待ちしております！

- 注意**
- ・長さ…2m以上+10cmまで
 - ・曲り…矢高5cm以内
 - ・その他…虫害、腐れ、割れなど

木材市況 2022. 7月

県森連庄内木材流通センター

単位: m³ / 円

樹種	長さm	末口径級cm	高値	中値	備考
杉	4.00	36cm上	—	16,920	△
		20cm上	18,180	17,280	○
		14~18cm	17,856	16,560	○
//	3.65	20cm上	18,648	17,640	△
		14~18cm	16,740	15,840	△
//	3.00	20cm上	18,216	17,640	○
		16~18cm	17,280	16,200	△

※備考欄の◎高・○保合・△安は前月比

●● お願い ●●

*組合員資格等の変更届

山林の所有名義や所有面積に移動があった時は、変更の届出をお願いします。

*森林の土地を取得したときは届出が必要

山林の売買や相続など面積に関わらず全てに必要です。詳しくは、市の林務担当課へお問い合わせください。

編集/発行

JForest 温海町森林組合

〒999-7123 山形県鶴岡市大岩川字木揚場8番地
 TEL (0235) 43-2313 FAX (0235) 43-2317